

外国語科活動の特徴

—令和3年度入学生(最後の外国語科)が 優先的に実施できる活動—

令和3年度入学生（現中学3年生）までは、外国語科に入学し外国語科を卒業することができます。外国語科は、普通科に比べ「言語活動」「異文化理解活動」が充実しており、学校の枠を越えた魅力的なものが多くあります。

○海外研修

普通科の生徒も参加していますが、外国語科では、なんと40人中32人が参加しています。また、外国語科・フランス語選択者のみが対象となる交換留学制度もあります。

【主な行先】

オーストラリア・ドイツ・フランス・アメリカ・カナダ・ベトナム・カンボジア・タンザニア・マダガスカル・マレーシア・シンガポール・フィリピン・香港・ニューカレドニア・フィジー

○特別セミナー

外国語科では“英語のシャワー”を集中的に浴びる行事があります。それが、春と夏に行われるセミナーです。外部から外国人講師を招き、英語でグループワークや通常生活を送ります。



○スピーチコンテスト

校内では「ポプラカップ」というスピーチコンテストが行われています。また、大学主催のスピーチコンテストなどの校外で実施されるものにも参加できます。コンテストに向けて、外国語科教員、ALTがマンツーマンで指導しますので、英語力とプレゼンテーション力を大きく向上させるチャンスです。もちろん入賞者多数です。



2019年 11月「ポプラカップ」(スピーチコンテスト)

○4技能スキルアッププログラム

これからの大学入試でも注目されている「聞く」「話す」「読む」「書く」のスキルアッププログラムは、外国語科創立当初からあります。最近では、洋書テキストを使用し、多読・リスニング演習を行うことで、生徒の実践力はメキメキ上達しています。

○少人数制・ALT2名体制授業

外国語科を学ぶ環境としてはとても贅沢な環境です。少人数制なので、ネイティブのALTが個別指導を行う機会がとても多い。授業では、スピーチやプレゼンテーションだけでなく、ディベート・ディスカッション・エッセイライティングなども行います。



第2外国語（仏語）の授業



異文化理解

○外部講師との連携

外国語科では年5～6回外部講師をお招きし、特別授業の実施、不動岡の教員の授業研究サポートにご協力頂いております。外国語科は今後の不動岡を支える学科です。現在も生徒目線の研究開発を行い、最先端の授業実践を心がけています。

○外国語科卒業生との連携

進学先選択や大学入試に向けた勉強方法だけでなく、社会人となった卒業生などから将来を見据え、身に付けておくべきことや考えるべきことなどを和やかなムードで話し合います。進路懇親会などの雰囲気はまさに“ファミリー”です。

○「サイエンス教室」での生徒企画

不動岡高校の志望理由上位に「文化祭など生徒主体の行事が多いこと」があります。サイエンス教室は小学生を対象とする催しです。理数系の企画に加え、「英語で遊ぼう」「中国語を知ろう」など外国語科生徒が考えた企画で参加しています。“生徒主体の行事”が1つ多いということです。

○クラス内に留学生

令和元年度は、ドイツから2名の長期留学生、フランスから5名・オーストリアから1名の短期留学生が不動岡高校に来ました。もちろん加わるのは外国語科です。つまり、普段の学校生活で外国語や異文化と触れ合うことが当たり前の環境が、不動岡高校・外国語科です。

○英検・GTEC の好成績

日頃の外国語活動が、目に見える成果としても現われます。
令和元年度の主な結果です。

3年生：英検1級1名、準1級3名

2年生：GTEC CEFR B1レベル（英検2級上位に相当）全員

英検準1級3名



外国語科は令和4年度(再来年度)から普通科と統合しますが、外国語科で行ってきた活動をできるだけ続ける予定です。

しかし、令和3年度(来年度)入学生では、上記のことは外国語科の生徒しかできない、または優先される活動です。